

横浜みどりアップ計画について

横浜みどりアップ計画については、平成 21 年度から、横浜みどり税を財源の一部として積極的に活用し推進してきました。平成 26 年度からは、それまでの取組の成果や課題等を踏まえ策定した新たな 5 か年計画に取り組んでいます。

1 平成 26 年度の主な事業の実績

平成 26 年度は、計画の初年度にあたり、おおむね順調に取組を進めることができました。

「市民とともに次世代につなぐ森を育む」取組では、多くの土地所有者の方々の理解と協力を得ながら、計画の根幹である樹林地の確実な保全を進めるとともに、市民の方々と協働して良好な森を育成するための取組や、市民の方々が森に関わるきっかけとなるような様々なイベントを開催するなど森の情報発信を進めました。

「市民が身近な農を感じる場をつくる」取組では、良好な農景観を保全するため、水田の保全や地域の農地を管理する団体に対する支援等を行うとともに、市民が身近に農とふれあう場づくりや地産地消を身近に感じていただけるイベントの開催・情報発信等に取り組みました。

「市民が実感できる緑をつくる」取組では、市民とともに地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり計画を実現するための取組を進めるとともに、子どもを育む空間や多くの市民が利用する公共施設など市民の身近な場所での緑の創出を進めました。

「効果的な広報の展開」では、市民の皆様のご理解とご協力を得ながら取組を推進するため、様々な媒体・手法を用いて、計画や取組実績の周知や PR を行いました。

(1) 市民とともに次世代につなぐ森を育む

◆緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

◇緑地保全制度に基づく地区指定による樹林地の保全

土地所有者ができるだけ樹林地を持ち続けられるよう、固定資産税の減免などの優遇措置の適用や維持管理などの負担軽減が可能となる緑地保全制度の指定を進め、樹林地を保全しました。

<指定実績>

平成 26 年度目標 新規指定面積：100ha

制度名		指定済み		備考
		地区数	面積	
【 合 計 】		101. 7ha		
内 訳	特別緑地保全地区	24地区 (うち、既存地区の拡大4地区)	40. 7ha	○新規指定 ・東寺尾六丁目地区（鶴見区） ・片倉三丁目地区（神奈川区） ・野庭・上永谷地区（港南区） ・今井町多子谷地区（保土ヶ谷区） ・市沢町日向地区、上川井町堂谷地区、上白根町小池地区、川島町ニノ沢地区（旭区） ・六浦東三丁目地区（金沢区） ・北八朔町北地区、三保町東谷地区、三保町杉沢堰地区（緑区） ・恩田町地区、恩田町九郎治谷地区、恩田町番匠谷地区、鉄町富士塚台地区（青葉区） ・大柵町地区（都筑区） ・下倉田町地区（戸塚区） ・和泉町早稲田地区（泉区） ・阿久和南一丁目地区（瀬谷区） ○拡大指定 ・小机城址地区（港北区） ・恩田東部地区（青葉区） ・朝比奈地区（金沢区） ・上郷・中野地区（栄区）
	市民の森	新規指定 2地区 既存地区の指定 拡大 13地区	22. 4ha	・新規指定 （仮称）富岡東三丁目市民の森（金沢区） （仮称）上川井市民の森（旭区） ・既存地区の指定拡大
	緑地保存地区	契約件数 31契約	11. 9ha	・26年8月契約（14契約） ・26年12月契約（11契約） ・27年3月契約（6 契約）
	源流の森保存地区	契約件数 65契約	22. 6ha	・26年8月契約（17契約） ・26 年 12 月契約（13 契約） ・27 年 3 月契約（35 契約）
	寄附受納等	10地区	4. 1ha	【寄附緑地】 3. 8ha 【農園付公園】 0. 3ha

◇土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買い入れ申し出があった場合に、市が買取りに対応しました。

<買取り実績>

平成 26 年度 買取見込面積：約 18.4ha		
制度名	地区名	区名
【 合 計 】	30 地区 18.2ha	
近郊緑地特別保全地区（1 地区）	大丸山地区	栄区
特別緑地保全地区（20 地区）	獅子ヶ谷・師岡地区	鶴見区
	菅田町出戸谷地区、三枚町地区	神奈川区
	芹が谷五丁目地区	港南区
	川島地区	保土ヶ谷区
	市沢町地区、猪子山地区、上川井町堀谷地区	旭区
	峰地区	磯子区
	綱島地区	港北区
	鴨居四丁目地区、西八朔町藤林地区	緑区
	恩田東部地区、寺家地区	青葉区
	池辺町滝ヶ谷戸地区、池辺町八所谷戸地区	都筑区
	飯島町地区、鍛冶ヶ谷地区、公田・荒井沢地区	栄区
	古橋地区	泉区
市民の森等（9 地区）	獅子ヶ谷市民の森、東寺尾ふれあいの樹林	鶴見区
	峯市民の森	磯子区
	篠原城址緑地	港北区
	新治市民の森	緑区
	深谷市民の森	戸塚区
	瀬上市民の森	栄区
	新橋市民の森	泉区
	瀬谷市民の森	瀬谷区

(2) 市民が身近に農を感じる場をつくる

◆様々なニーズに合わせた農園の開設

◇市民農園の開設支援

農家から指導を受けることができ、農作業の経験がない人でも栽培から収穫までを楽しめる農園や、利用者が自由に農作業を楽しめる農園など、土地所有者などが農園を開設するための支援を行いました。

平成 26 年度目標 開設支援面積：1.2ha

区 名	か所数	面積
【 合 計 】	23 か所	2. 8ha
神奈川区	1 か所	0. 13ha
保土ケ谷区	1 か所	0. 15ha
旭区	3 か所	0. 41ha
港北区	2 か所	0. 30ha
緑区	3 か所	0. 25ha
青葉区	7 か所	0. 80ha
戸塚区	3 か所	0. 41ha
栄区	1 か所	0. 07ha
泉区	2 か所	0. 28ha

◆市民や企業と連携した地産地消の展開

◇企業等との連携の推進

生産者と企業等を結ぶ仕組みをつくるとともに、相談窓口を設置し、地産地消を広げる「農と企業等との連携」のマッチングを行いました。

平成 26 年度目標 連携件数：5 件

連 携 実 績 【連携件数：5 件】	
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11 月
そごう等との連携によるマルシェの開催	4、7、11 月
山崎製パン(株)との連携による新商品の企画及び P R	10 月～12 月
東京ガス(株)との連携による「地産地消・食育」をテーマとした料理教室の開催	11 月 27 日
J R 東日本との連携による横浜線沿線でのマルシェ開催等	通年

(3) 市民が実感できる緑をつくる

◆地域緑のまちづくり

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めています。

25 年度までに着手した継続地区 16 地区と、26 年度に公募・選考し協定を締結した新規地区 6 地区とをあわせた 22 地区で、計画に基づく地域緑化に取り組みました。

平成 26 年度目標 地域緑化推進地区：22 地区				
25 年度までに着手した継続地区	地区名	区名	地区名	区名
	生麦新子安	鶴見区/神奈川区	錦が丘	港北区
	山手	中区	末広	鶴見区
	馬車道	中区	平楽	南区
	白根台第九	旭区	みなとみらい 21 新港	中区
	上白根国際	旭区	牛久保西	都筑区
	名瀬たかの台	戸塚区	北寺尾	鶴見区
	上飯田	泉区	みなとみらい 21 横浜駅東口・中央	西区
	みなとみらい 21 中央	西区	湘南桂台	栄区
継続 地区数の合計 16 地区				
26 年度新規地区	地区名	区名	地区名	区名
	洋光台一丁目	磯子区	竹山三丁目	緑区
	六ツ川・永田	南区	金沢文庫すずらん通り	金沢区
	柿の木台	青葉区	中原三丁目	磯子区
新規 地区数の合計 6 地区				

◆都心臨海部の緑花による賑わいづくり

都心臨海部の都市公園、港湾緑地、街路樹などを中心に、質の高い緑や花の整備と管理を集中的に展開し、街の魅力形成・賑わいづくりにつなげます。

26 年度はみなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした 6 か所で、緑のネットワーク形成を進めました。また緑花の維持管理として、山下公園、グランモール公園、新港中央広場において、緑や花の良好な管理を進めました。

平成 26 年度目標 推進		
緑花による魅力・賑わいづくり実績 合計 6 か所		
山下公園	横浜公園	港の見える丘公園
アメリカ山公園	新港中央広場	桜木町駅前西口広場
平成 26 年度目標 推進		
緑化の維持管理実績 合計 3 か所		
山下公園	グランモール公園	新港中央広場

(4) 効果的な広報の展開

◆計画の周知や実績報告

横浜みどりアップ計画の広報事業では、取組の内容や実績について、様々な媒体・手法を用いて効果的にお知らせし、理解を深めていただくとともに、緑に関わる活動に参加するきっかけとなる機会を提供しました。

財政局と連携し、区役所の協力も得ながら、一体的な広報を実施しました。

ア 広報誌等

○広報よこはま

- ・ 5月号特集ページ 横浜みどりアップ計画(計画期間：平成26-30年度)の概要
- ・ 9月号特集ページ 新規・拡充施策(平成21-25年度)の実績、平成26年度の推進状況、10・11月のみどりアップ月間など

○5か年実績リーフレットを14万部作成し、全戸回覧・公共施設等での配付を行い、計画概要や事業実績を周知

イ イベント

○「農と緑のふれあい祭り」パネルやクイズによる計画PR、収穫体験、地産地消の紹介、クラフト教室

○「環境行動フェスタ」ステージの大画面を使用して、横浜の緑の環境や市内産農産物を紹介

○「よこはま食と農の祭典」横浜の農の紹介・野菜の直売、地産地消の取組のPR

○「よこはま森の楽校」市内大学の学生が企画・運営した自然教室やみなとみらい21地区でのみどりに親しむワークショップ

○各区区民まつりでの計画のPR、クラフト教室

○森や公園を使ったウォーキングイベント など



【写真】「農と緑のふれあい祭り」の様子

ウ その他

○みどりアップ月間に合わせて、パートラッピングバス・車内ポスターなど交通広告を実施し、計画やみどりアップ月間をPR

○市庁舎など公共施設等での横断幕によるPR

○市のホームページでの計画内容・実績などの公表、twitterやメールマガジンでのイベント情報の提供

○マスコットキャラクターの作成



【写真】パートラッピングバス



【図】横浜みどりアップのマスコットキャラクター

(5) 横浜みどりアップ計画市民推進会議

横浜みどりアップ計画の推進に向け、施策・事業の評価・提案と市民への情報提供を市民参加の組織により行いました。

<開催概要>

会議・活動	主 な 内 容
第 20 回市民推進会議 (7 月 9 日)	・ 26 年度事業目標について ・ 新たな市民推進会議の進め方について
第 12 回調査部会 (9 月 9 日)	・ 戸塚区の水田、樹林、民間保育園の芝生化を調査
第 13 回調査部会 (10 月 1 日)	・ 旭区の樹林、青葉区の水田及び地産地消、西区及び中区の緑化を調査
第 21 回市民推進会議 (1 月 27 日)	・ みどりアップ計画の進捗状況について ・ 26 年度市民推進会議報告書について
施策別専門部会	・ 「森を育む」施策の評価提案について (2 月 24 日) ・ 「農を感じる」施策の評価提案について (2 月 17 日) ・ 「緑をつくる」施策の評価・提案について (3 月 5 日)
広報誌の発行 (11 月、1 月、3 月)	・ 広報誌「みどりアップQ」を公共施設等 (約 600 箇所) で配布

2 市民認知度調査

効果的な広報の取組の一環として、26 年度に実施した『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の結果についてご報告します。

(1) 調査の概要

○目的 「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」を市民の皆様にご存知いただくための広報の方法や、市民の皆様の緑の取組への関心を検証し、今後の取組及びその広報を検討する基礎資料とすること

○調査の対象 市民 5,000 人（住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民）

○実施期間 平成 26 年 12 月 1 日（月）から 19 日（金）まで

○回収数等 1,449 票（回収率 29.0%）

○設問 「横浜みどりアップ計画を知っているか」「横浜みどり税を知っているか」「何で知ったか」「市の情報を得る手段」など 10 問

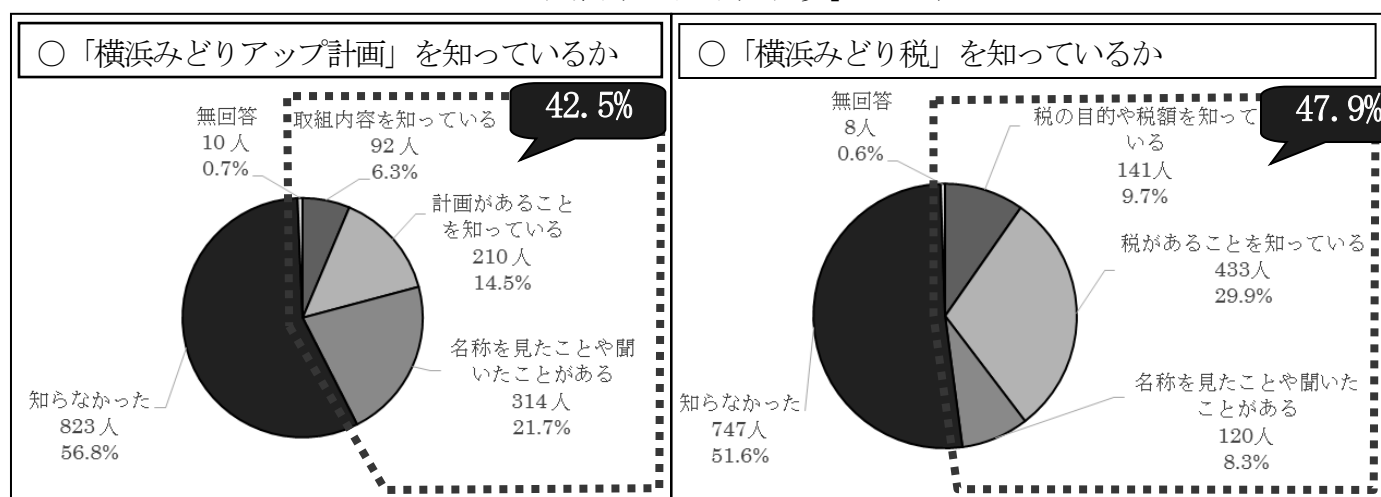
(2) 主な調査結果

○「横浜みどりアップ計画を知っているか」…「計画があることを知っている」など：42.5%

○「横浜みどり税を知っているか」…「税があることを知っている」など：47.9%

○「何で知ったか」…「広報よこはま等の広報誌」：53.3%

○「市の情報を得る手段」…「広報よこはま等の広報誌」：72.8%
…「自治会・町内会の回覧」：41.3%



(3) 今後の対応等

調査結果を踏まえ、引き続き、広報よこはま等での情報提供をさらに進めること、自治会・町内会の回覧は目を引く工夫をすること、イベントを通じてPRすることなど、より積極的に取り組んでいきます。

本調査については、27 年度以降も毎年度実施します。

3 平成 27 年度事業目標

〔「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）平成 27 年度事業目標（参考資料 3）参照〕

横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）

平成 26 年度事業目標及び事業実績



取組の柱 1：市民とともに次世代につなぐ森を育む

※ 平成 26 年度執行見込額：平成 27 年 4 月末現在の数値

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 26 年度 事業目標	平成 26 年度 事業実績	平成 26 年度執行見込額 [百万円]※		【参考】 5 か年の目標
				総額	横浜 みどり税 充当額	
	施策 1：樹林地の確実な保全の推進					
	①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業					
1	緑地保全制度 による指定の 拡大・市によ る買取り	緑地保全制度に よる新規指定 面積：100ha 買取り見込面積： 18.4ha	新規指定面積： 101.7ha 買取り面積： 18.2ha	5,932	(646)	新規指定： 500ha ※買取り想定 面積：108ha
	施策 2：良好な森を育成する取組の推進					
	②生物多様性・安全性に配慮した森づくり事業					
2	森づくりガイ ドライン等を 活用した森の 育成	ガイドライン等 を活用した維持 管理：推進 《対象：市民の 森、ふれあいの 樹林等、まとま った樹林のある 公園》	ガイドライン等 を活用した維持 管理 (樹林地) 109 か所 (公 園) 11 か所	585	(443)	ガイドライン等 を活用した維持 管理：推進
		保安全管理計画の 策定 樹林地： 3 か所 公園：2 か所	保安全管理計画の 策定 樹林地： 3 か所 公園： 5 か所			保安全管理計画の 策定 樹林地： 15 か所 公 園： 10 か所
3	指定された樹 林地における 維持管理の支 援	樹林地維持管理 助成：130 件	樹林地維持管理 助成：132 件			樹林地維持管理 助成：650 件
4	生物多様性に 配慮した防災 性・安全性の 向上	法面の整備： 2 か所	法面の整備： 施工中 1 か所			法面の整備： 10 か所
5	間伐材の有効 利用	チップターの貸出 し：推進	チップターの貸出 し：20 回			チップターの貸出 し：推進

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 26 年度 事業目標	平成 26 年度 事業実績	平成 26 年度執行見込額 [百万円]※		【参考】 5 か年の目標
				総額	横浜 みどり税 充当額	
③森を育む人材の育成事業						
6	森づくりを担 う人材の育成	森づくり活動団 体（個人）の育成 等：推進 森づくりボラン ティアへの情報 発信、広報・PR の充実：推進	研修の実施： 16 回 森づくりボラン ティア等ヘニュー スレターを発 行：4 回	12	(12)	森づくり活動団 体（個人）の育 成等：推進 森づくりボラン ティアへの情報 発信、広報・PR の充実：推進
7	森づくり活動 団体への支援	森づくり活動団 体への支援 （樹林地）： 10 団体 （公 園）： 10 団体	森づくり活動団 体への支援 （樹林地）： 22 団体 （公 園）： 7 団体			森づくり活動団 体への支援 （樹林地）： 延べ 50 団体 （公園）： 延べ 50 団体
施策 3：森と市民とをつなげる取組の推進						
④市民が森に関わるきっかけづくり事業						
8	森の楽しみづ くり	イベント実施及 び広報活動 イベント等の実 施：36 回	イベント実施及 び広報活動 イベント等の実 施：107 回	54	(17)	イベント実施及 び広報活動 イベント等の実 施：180 回
9	森に関する情 報発信	市民の森・ふれあ いの樹林ガイド マップ作成： 推進 ウェルカムセン ター（5 館）運 営： 推進	市民の森・ふれあ いの樹林ガイ ドマップ作成： 3 地域 ウェルカムセン ター 5 館運営： 推進			市民の森・ふれあ いの樹林ガイ ドマップ作成： 新規に指定され た市民の森等を 対象に作成 ウェルカムセン ター（5 館）の 運営：推進

取組の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる

※ 平成26年度執行見込額：平成27年4月末現在の数値

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 26 年度 事業目標	平成 26 年度 事業実績	平成 26 年度執行見込額 [百万円]※		【参考】 5 か年の目標
				総額	横浜 みどり税 充当額	
	施策 1：農に親しむ取組の推進					
	①良好な農景観の保全事業					
10	水田の保全	水田保全承認面積： 累計 120ha 水源確保施設整備：2 か所	水田保全承認面積： 累計 119.7ha 水源確保施設整備：1 か所	147	(75)	水田保全承認面積： 累計 125ha 水源確保施設整備：10 か所
11	特定農業用施設保全契約の締結	制度運用	契約の締結： 12 件 (1,348 m ²)			制度運用
12	農景観を良好に維持する取組の支援	良好に維持されている農地の面積：680ha	良好に維持されている農地の面積：704.3ha			良好に維持されている農地の面積：680ha
		田園景観保全水路整備：1 地区	田園景観保全水路整備：1 地区			田園景観保全水路整備：5 地区
		共同利用設備の整備：5 件	共同利用設備の整備：2 件	共同利用設備の整備：25 件		
13	多様な主体による農地の利用促進	長期貸付開始農地：2.0ha (累計 64.3ha)	長期貸付開始農地：4.1ha (累計 66.4a)			長期貸付開始農地：80ha
	②農とふれあう場づくり事業					
14	様々なニーズに合わせた農園の開設	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設：4.7ha	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設：5.7ha	765 *注	(363) *注	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設： 25.8ha
		収穫体験農園の開設支援：2.5ha	収穫体験農園の開設支援：1.5ha			収穫体験農園の開設支援： 12.5ha
		市民農園の開設支援：1.2ha	市民農園の開設支援：2.8ha			市民農園の開設支援：6.0ha
		農園付公園の整備： 3 か所 (1.0ha)	農園付公園の整備： 3 か所 (1.4ha)			農園付公園の整備： 7.3ha

*注 「②農とふれあう場づくり事業」全体の執行見込額

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 26 年度 事業目標	平成 26 年度 事業実績	平成 26 年度執行見込額 [百万円]※		【参考】 5 か年の目標
				総額	横浜 みどり税 充当額	
15	市民が農を楽しむ支援する 取組の推進	農体験教室などの 実施：100 回 ふるさと村・収穫 体験等：14 回 恵みの里・農体験 教室等：86 回 あぐりツアーの 開催：4 回 農ある地域づく り協定：ワークシ ョップ等開催 農体験講座： 5 回	農体験教室などの 実施：94 回 ふるさと村・収穫 体験等：13 回 恵みの里・農体験 教室等：81 回 あぐりツアーの 開催：3 回 実施地区：1 地区 農体験講座： 5 回	765 *注	(363) *注	横浜ふるさと 村、恵みの里で 農体験教室など の実施：500 回 あぐりツアーの 開催：20 回 農ある地域づく り協定：4 件 農体験講座： 25 回
施策 2：地産地消の推進						
③身近に感じる地産地消の推進事業						
16	地産地消にふ れる機会の拡 大	直売所等の支援： 10 件 青空市運営支援： 5 件 緑化用植物の 生産・配布： 26,000 本 情報発信・PR 活 動：推進	直売所等の支援： 4 件 青空市運営支援： 4 件 緑化用植物の 生産・配布： 27,533 本 情報発信・PR 活 動：推進	28	(-)	直売所等の支 援：52 件 青空市運営支 援：25 件 緑化用植物の生 産・配布： 125,000 本 情報発信・PR 活 動：推進
④市民や企業と連携した地産地消の展開事業						
17	地産地消を広 げる人材の育 成	はまふうどコン シェルジュの活 動支援：20 件 フォーラムの開 催：1 回	はまふうどコン シェルジュの活 動支援：14 件 フォーラムの開 催：1 回	3	(-)	はまふうどコン シェルジュの活 動支援：100 件 フォーラムの開 催：5 回
18	市民や企業等 との連携	企業等との連 携：5 件 ビジネス創出支 援：推進 学校給食での市 内産農畜産物の 利用促進：推進	企業等との連 携：5 件 ビジネス創出支 援：推進 学校給食での市 内産農畜産物の 利用促進：推進			企業等との連 携：50 件 ビジネス創出支 援：25 件 学校給食での市 内産農畜産物の 利用促進：推進

*注 「②農とふれあう場づくり事業」全体の執行見込額



取組の柱 3：市民が実感できる緑をつくる

※ 平成 26 年度執行見込額：平成 27 年 4 月末現在の数値

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 26 年度 事業目標	平成 26 年度 事業実績	平成 26 年度執行見込額 [百万円]※		【参考】 5 か年の目標
				総額	横浜 みどり税 充当額	
施策 1：市民が実感できる緑を創出する取組の推進農に親しむ取組の推進						
①民有地での緑の創出事業						
19	民有地における緑化の助成	緑化の助成：13 件	緑化の助成：5 件 （うち拡充部分の助成：1 件）	32	(19)	緑化の助成：65 件
20	建築物緑化保全契約の締結	制度運用	緑地保全契約締結：5 件 （約 2.4ha）			制度運用
21	名木古木の保存	推進	新規指定：19 本 維持管理の助成：51 本			推進
22	人生記念樹の配布	苗木の配布：8,000 本	苗木の配布：7,752 本			苗木の配布：40,000 本
②公共施設・公有地での緑の創出事業						
23	公共施設・公有地での緑の創出・管理	緑の創出：7 か所	緑の創出：16 か所	783	(292)	緑の創出：58 か所
		創出した緑の維持管理：推進	創出した緑の維持管理：推進			創出した緑の維持管理：推進
24	公有地化によるシンボリックな緑の創出	事業推進：1 か所	事業推進：1 か所			事業推進：5 か所
25	いきいきとした街路樹づくり	18 区で推進	18 区で推進			18 区で推進
施策 2：緑を楽しむ市民の盛り上げりを醸成する取組の推進						
③市民協働による緑のまちづくり事業						
26	地域緑のまちづくり	地域緑化推進事業：22 地区	地域緑化推進事業：22 地区	195	(195)	地域緑化推進事業：46 地区
		（新規 6 地区、継続 16 地区）	（新規 6 地区、継続 16 地区）			
④子どもを育む空間での緑の創出事業						
27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	緑の創出：20 か所	緑の創出：50 か所	61	(10)	緑の創出：100 か所
		芝生等の維持管理：推進	芝生等の維持管理：推進			芝生等の維持管理：推進
⑤緑や花による魅力・賑わいの創出事業						
28	都心臨海部の緑花による賑わいづくり	都心臨海部で推進	都心臨海部で推進	164	(136)	都心臨海部で推進
		緑花の維持管理：推進	緑花の維持管理：推進			緑花の維持管理：推進



効果的な広報の展開

※ 平成 26 年度執行見込額：平成 27 年 4 月末現在の数値

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 26 年度 事業目標	平成 26 年度 事業実績	平成 26 年度執行見込額 [百万円]※		【参考】 5 か年の目標
				総額	横浜 みどり税 充当額	
①市民の理解を広げる広報の展開						
29	計画の周知や 実績報告	各戸に届く広報 よこはまの特集 ページの利用 ----- 計画、実績概要の 作成、公共施設等 への配架 ----- 電車など交通広 告や各種メディ アの活用 ----- 市の工事等の現 場に統一的な看 板等を設置 ----- 市民認知度の調 査	推進	16	(-)	推進

「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査 報告書

1 目的

「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」を市民の皆様にご存知いただくための広報の方法や、市民の皆様の緑の取組への関心を検証し、今後の取組及びその広報を検討する基礎資料とすることを目的に本調査を実施しました。

2 調査の対象

市民5,000人
(住民基本台帳から無作為に抽出した満20歳以上の市民)

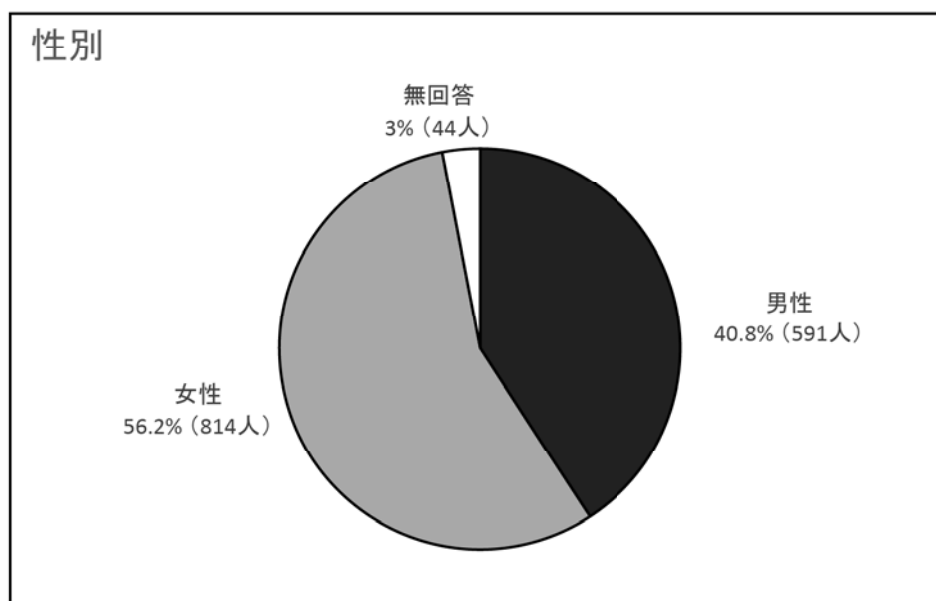
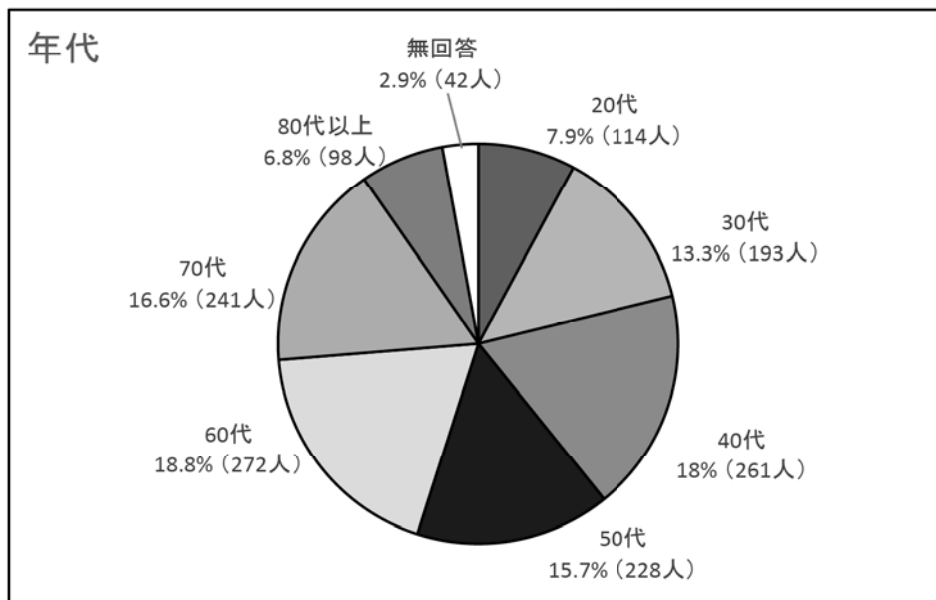
3 実施期間

- (1) 発 送 日：平成26年12月 1日 (月)
- (2) 回答期限：平成26年12月19日 (金)

4 回収数

1,449票(回収率29.0%)

5 回答者の属性



<調査結果 概要>

ポイント

1

知っている割合

横浜みどりアップ計画を知っている方は、「計画や取組内容を知っている」20.8%、「名称を見たことや聞いたことがある」21.7%、合わせて **42.5%**。
横浜みどり税を知っている方は、「税やその目的、税額を知っている」39.6%、「名称を見たことや聞いたことがある」8.3%、合わせて **47.9%**。

計画は合わせて42.5%、みどり税は合わせて47.9%の方が知っていると回答しており、両方を知っている方は36.9%、両方を知らない方は46.0%でした。また、計画、みどり税の両方、もしくは片方を知っている方の割合は53.5%でした。年代別では、基本的に年代が上がるにつれて知っている割合が高くなる傾向が見られます。計画、みどり税ともに70代では6割強が知っている一方、20代では2割程度にとどまっています。

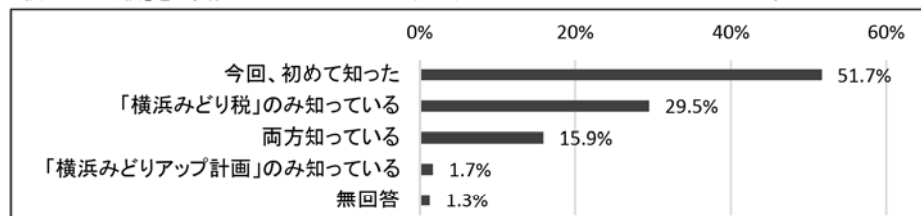
(p3、8、10参照)

* 参考

平成24年度に実施した「横浜の緑に関する市民意識調査」では、下記のような結果でした。

【質問】

横浜市では、現在「横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)」に取り組んでおり、その財源の一部として「横浜みどり税」をご負担していただいておりますが、このことについて知っていましたか。



詳細は、下記Webページをご参照ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/data/midori-chousa/>

ポイント

2

知った経緯

「広報よこはま等の広報誌」で知った方が過半数(53.3%)

横浜みどりアップ計画や横浜みどり税を知った人の53.3%が「広報よこはま等の広報誌」で知ったと答えています。2番目に高いのは「市からの税金の通知等」で35.4%です。年代別では、30代は広報誌よりも「市からの税金の通知等」で知った方の割合が5割と高く、逆に70代は6割以上の方が「広報よこはま等の広報誌」で知ったと答えています。また、20代は「広報よこはま等の広報誌」、「市からの税金の通知等」とも比較的低い割合にとどまっており、「20代」で知っている割合が低い要因は、これら「広報誌」「税金通知」になじみがない、興味が薄い等の理由が考えられます。

(p4、9参照)

ポイント

3

広報媒体

市の情報を得る手段として、「広報よこはま等の広報誌」(72.8%)、「自治会・町内会の回覧」(41.3%)を見ている方が多い。

普段市の情報を得る手段として72.8%の人が「広報よこはま等の広報誌」と答えています。2番目に高いのは「自治会・町内会の回覧」で41.3%です。年代別では、30代以降は「広報よこはま等の広報誌」、「自治会・町内会の回覧」で市の情報を得る割合が高いのに対し、20代は交通広告やテレビ・ラジオ、ホームページ等で市の情報を得る傾向があることがわかりました。

また効果的だと思われる広報の仕方で回答が多かったのは、1位「イベント開催」、2位「交通広告」の順でした。

(p4、9、13参照)

<報告書の見方>

回答形式：設問1, 2は単一回答、設問3～9は複数回答、設問10は自由記述回答です。

母数：全体結果の母数は、総回収数(1449人)です。

※属性別結果の母数は、それぞれの属性の回収数です。

(例：20代の母数は20代の回収数114人)

※設問3は「設問1.2両方とも知らなかったと答えた層」は回答することができないため、「設問1.2両方とも知らなかったと答えた人数」を母数から除外しています。

回答の割合：単一回答でも複数回答でも、母数は「回答の数」ではなく「回答した人数」です。
そのため、複数回答の場合、割合の合計は100%を超える場合があります。

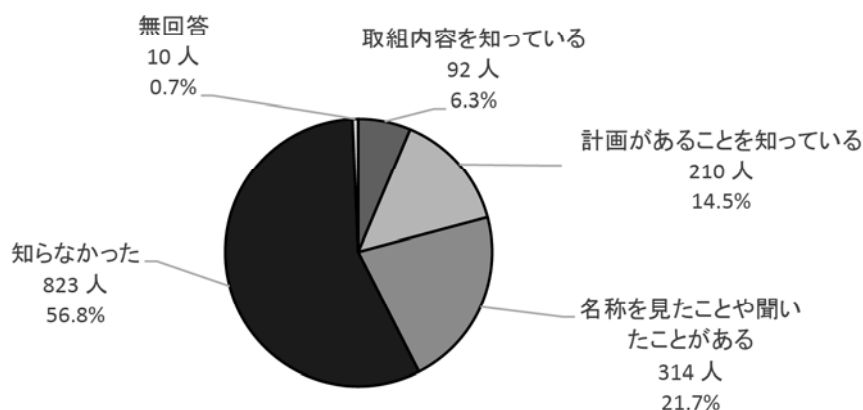
<設問ごとの単純集計>

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

横浜みどりアップ計画を知っている方は、「計画や取組内容を知っている」20.8%、「名称を見たことや聞いたことがある」21.7%、合わせて **42.5%**。

計画を知っている層では、「名称を見たことや聞いたことがある」と答えた割合が21.7%と最も多い。一方知らない割合は、56.8%。

設問1



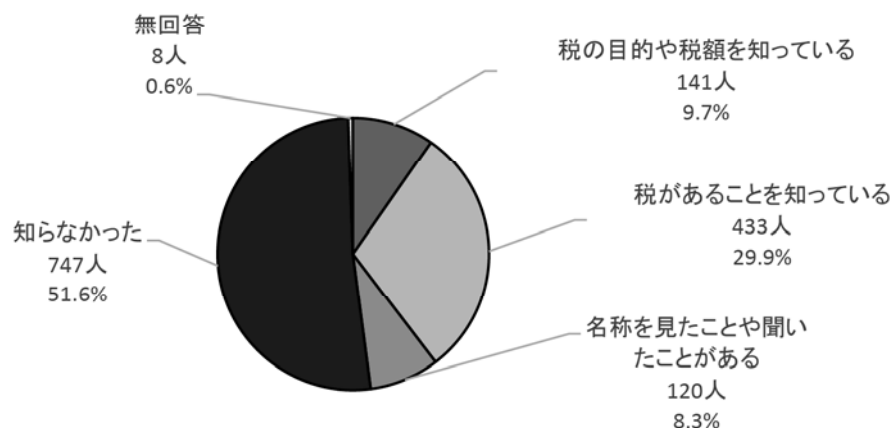
母数: 総回収数(1449人)

設問2 あなたは、「横浜みどり税」をご存知ですか？

横浜みどり税を知っている方は、「税やその目的、税額を知っている」39.6%、「名称を見たことや聞いたことがある」8.3%、合わせて **47.9%**。

横浜みどり税を知っている層では、「税があることを知っている」と答えた割合が29.9%と最も多い。一方知らない割合は、51.6%。

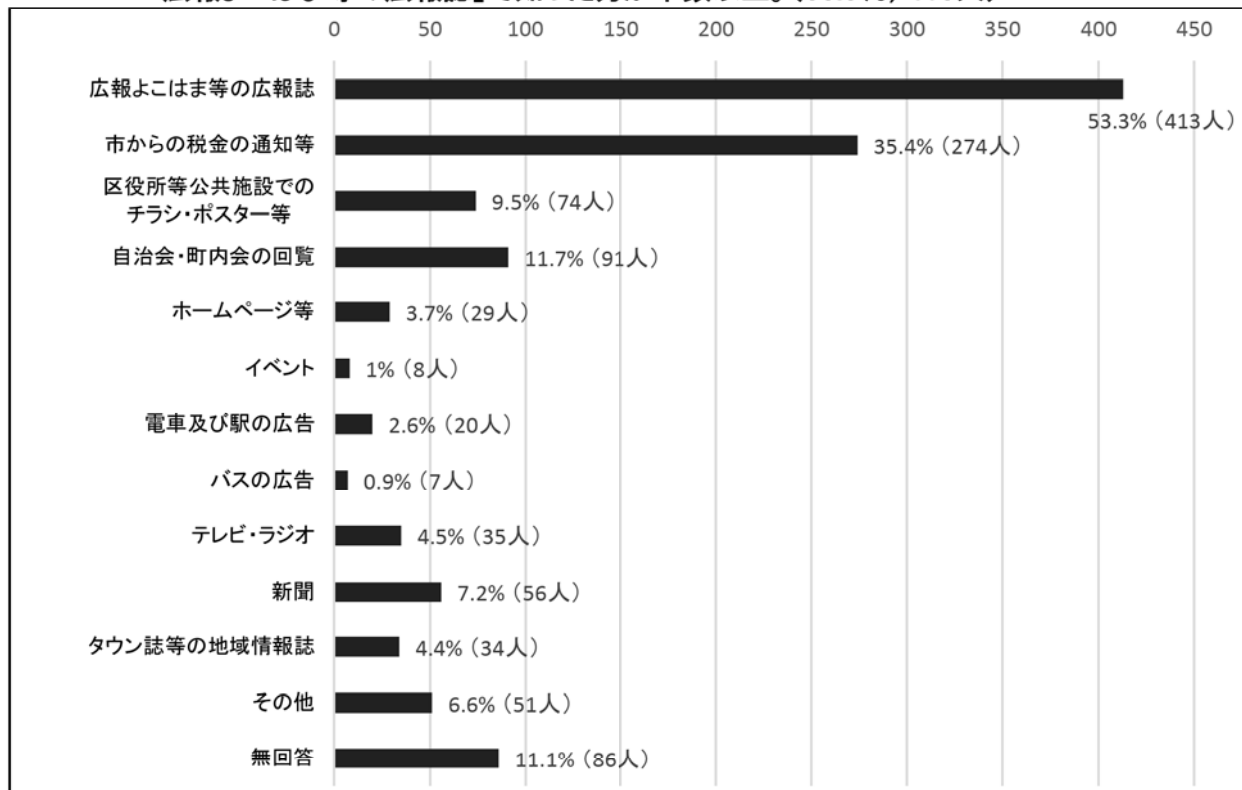
設問2



母数: 総回収数(1449人)

設問3 「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」について何で知りましたか？【複数回答可】

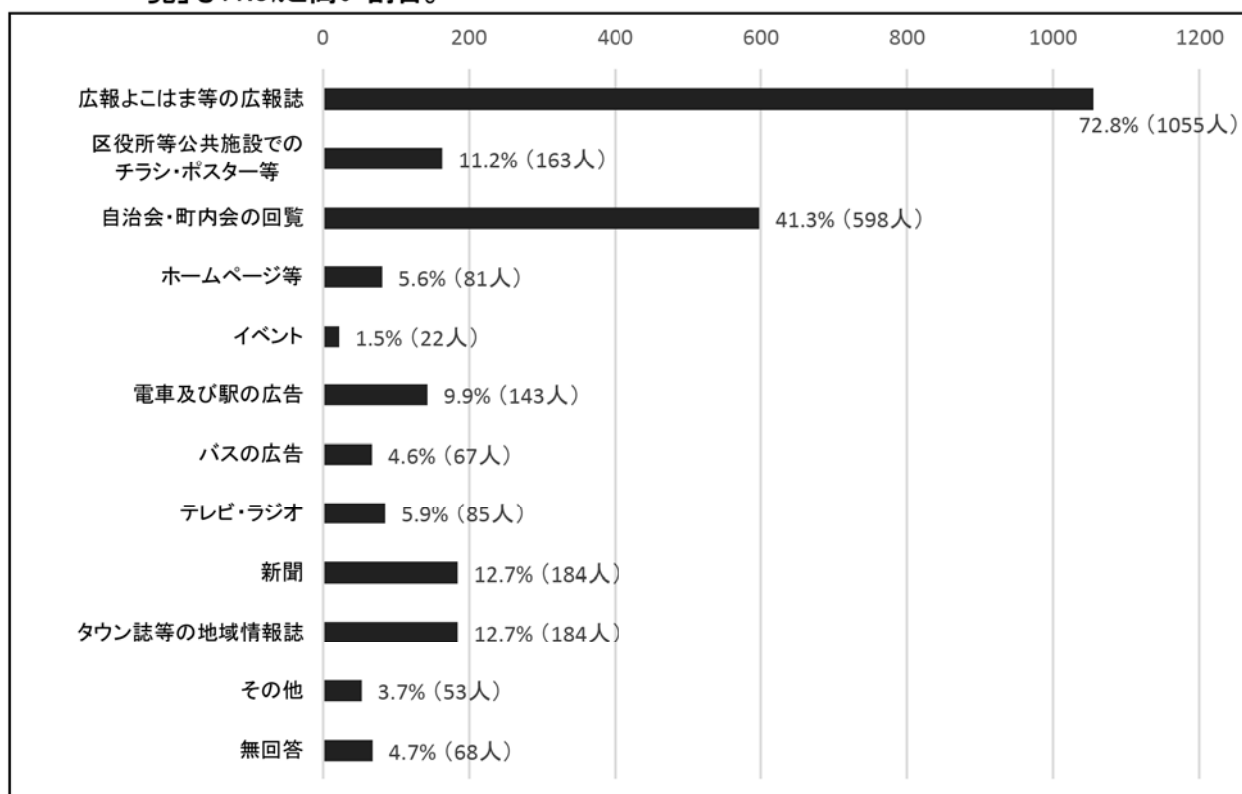
「広報よこはま等の広報誌」で知った方が半数以上。(53.3%, 413人)



母数：設問1,2の両方もしくは片方で知っているとは回答した人数(775人)

設問4 普段どのようにして横浜市からのお知らせ等を知りますか？【複数回答可】

「広報よこはま等の広報誌」で市の情報得る方が72.8%と圧倒的。「自治会・町内会の回覧」も41.3%と高い割合。

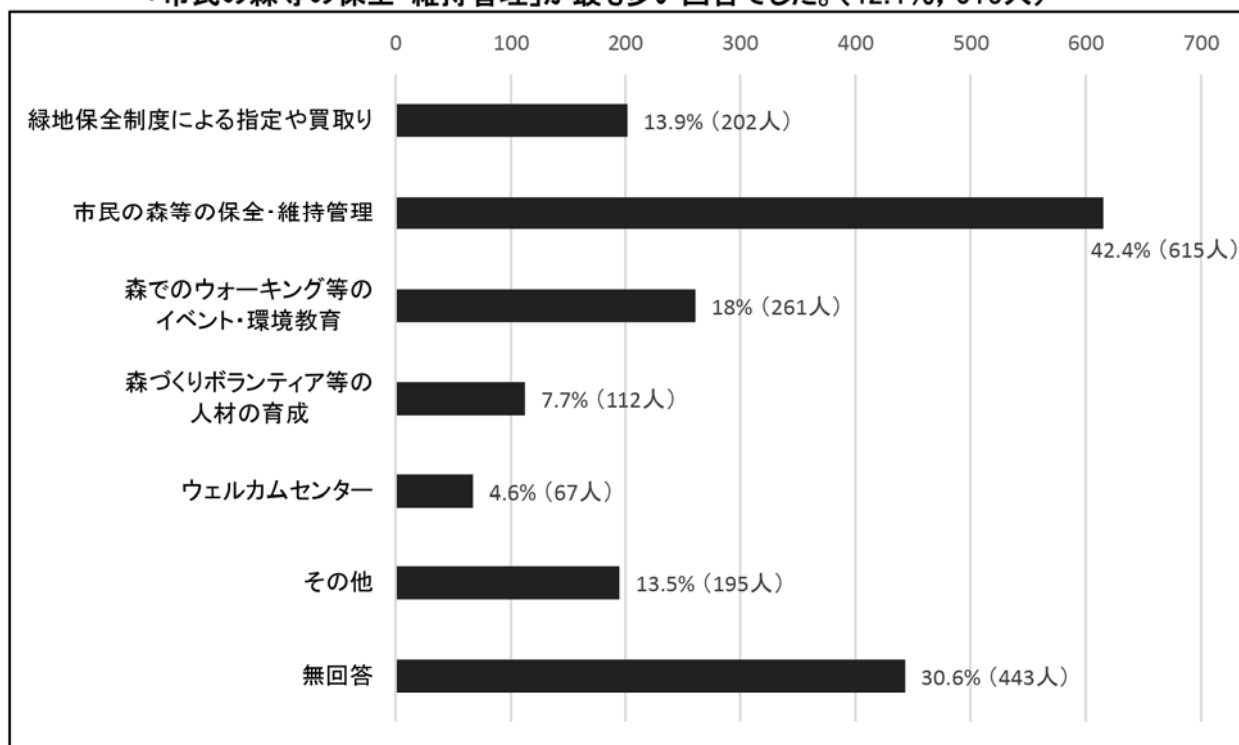


母数：総回収数(1449人)

設問5

市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民とともに次世代につなぐ森を育む」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

「市民の森等の保全・維持管理」が最も多い回答でした。(42.4%, 615人)

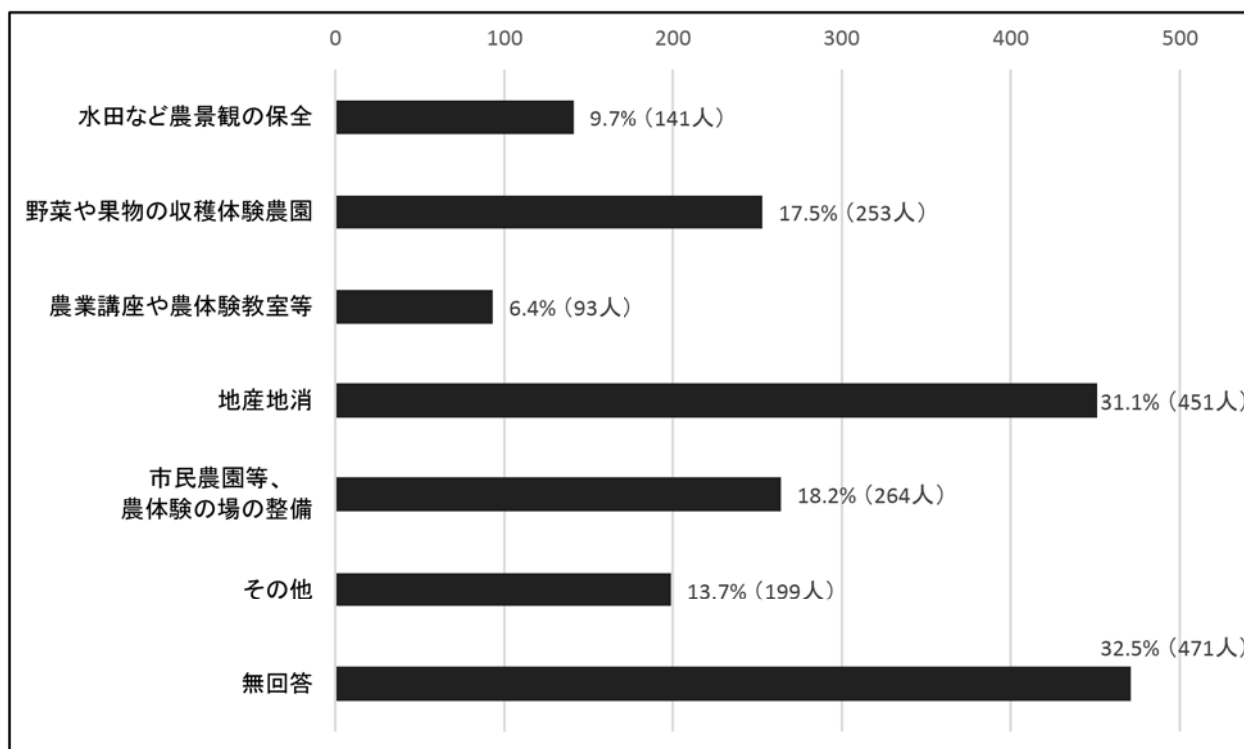


母数: 総回収数(1449人)

設問6

市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民が身近に農を感じる場をつくる」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

「地産地消」が最も多い回答でした。(31.1%, 451人)(無回答を除く)

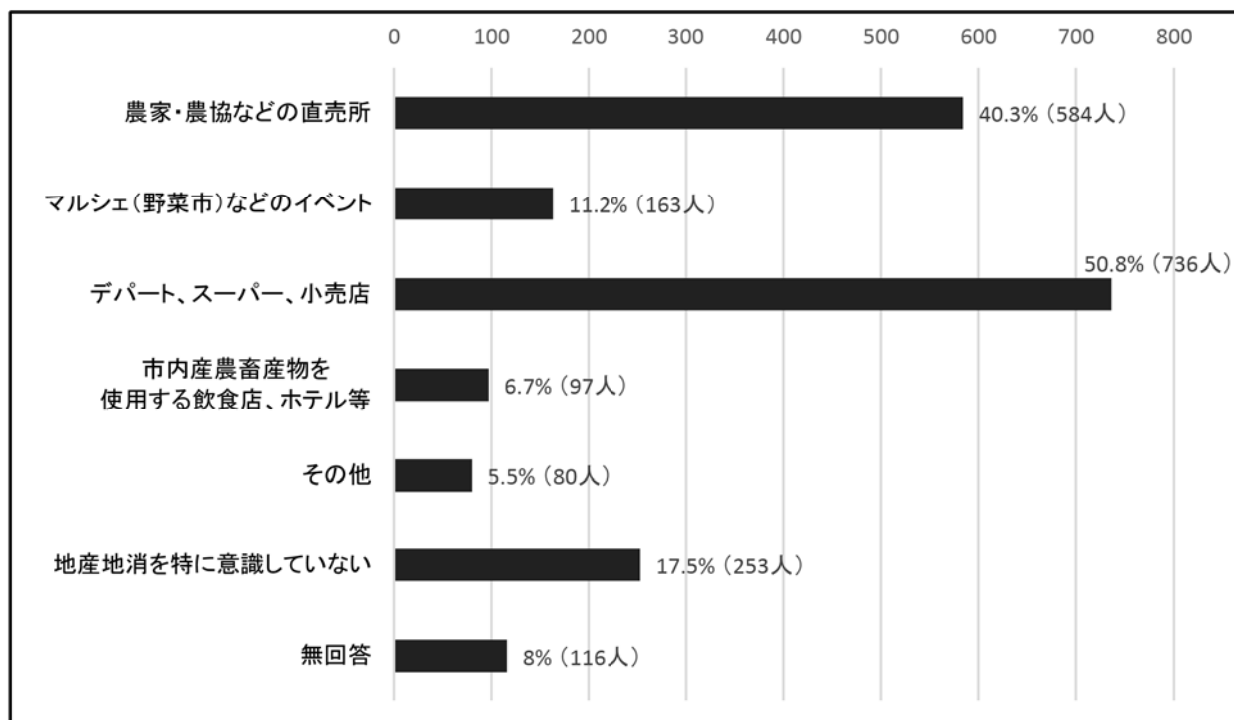


母数: 総回収数(1449人)

設問7

「市民が身近に農を感じる場をつくる」取組の中で、地産地消を推進しています。過去1年間で横浜産の農畜産物(加工品を含む)をどこで購入または味わいましたか?【複数回答可】

「デパート、スーパー、小売店」と「農家・農協などの直売所」が多い回答でした。

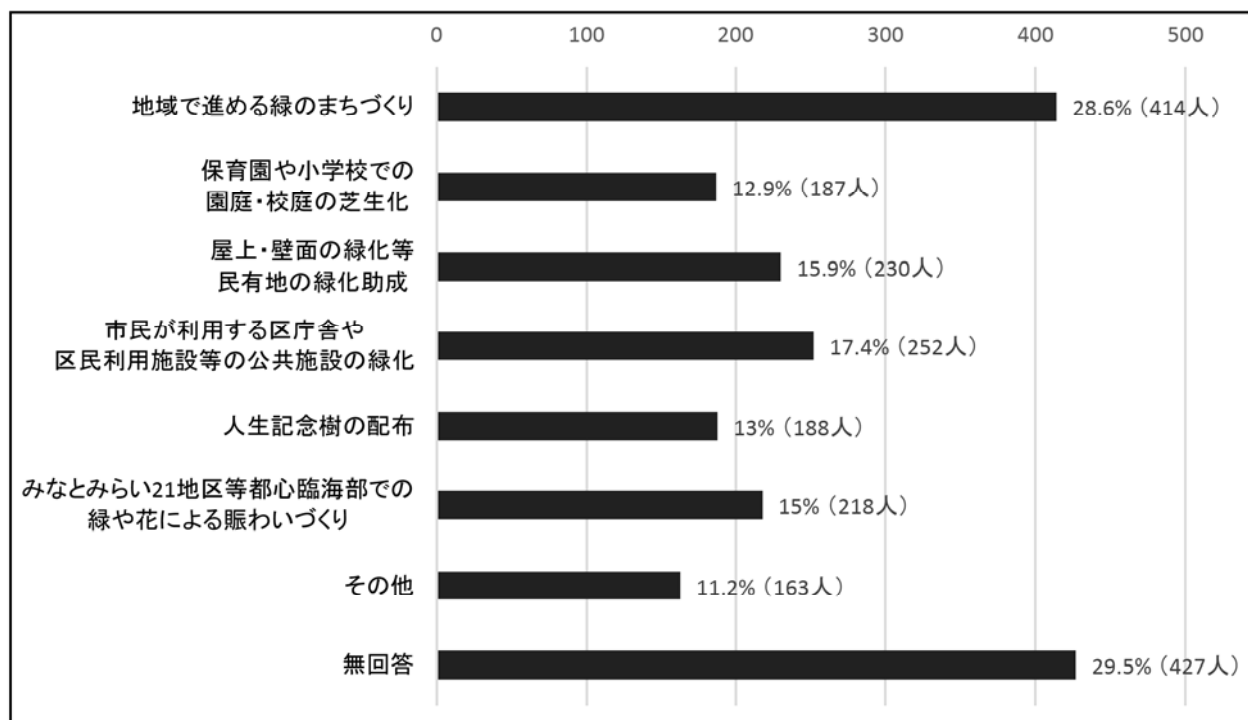


母数: 総回収数(1449人)

設問8

市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民が実感できる緑をつくる」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

「地域で進める緑のまちづくり」が最も多い回答でした。(28.6%, 414人)(無回答を除く)

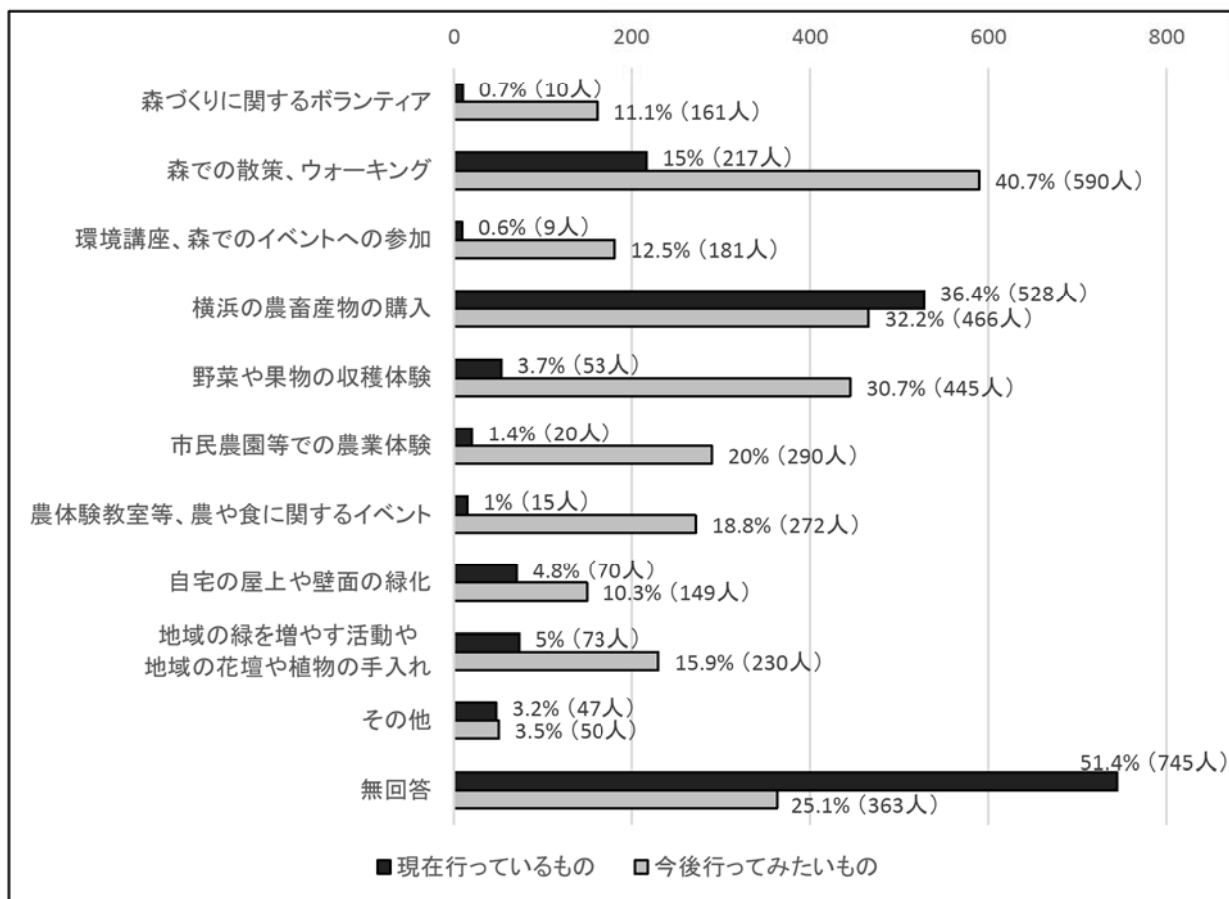


母数: 総回収数(1449人)

設問9

緑に関する取組について、現在行っているもの、もしくは今後行ってみたいものはありますか？【複数回答可】

現在行っていることは、「横浜の農畜産物の購入」が最も多い回答でした。(36.4%, 528人)
今後行ってみたいことは、「森での散策、ウォーキング」が最も多い回答でした。(40.7%, 590人)
(無回答を除く)



母数: 総回収数(1449人)

<クロス集計>

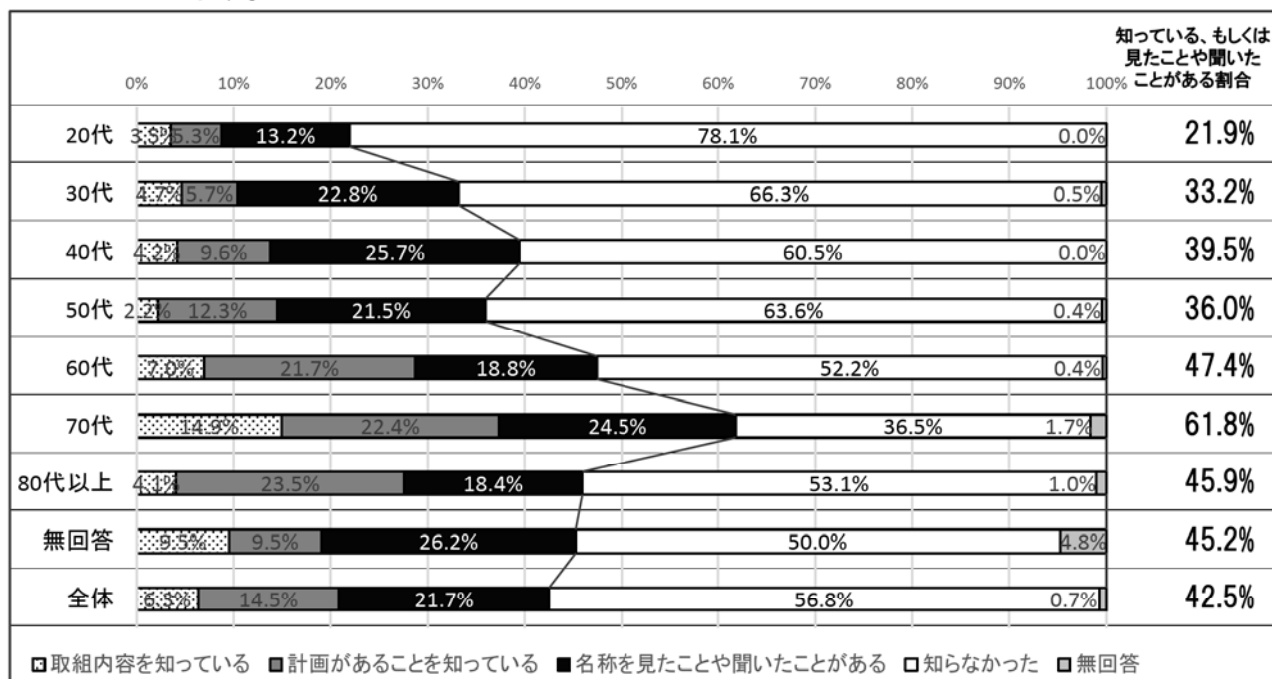
設問1

あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

×

年代

70代までは、基本的に年代が上がるにつれて知っている割合が高くなる傾向が見られます。知っている割合が最も低いのは20代で、20代114人中89人(78.1%)の方が知らないと答えています。



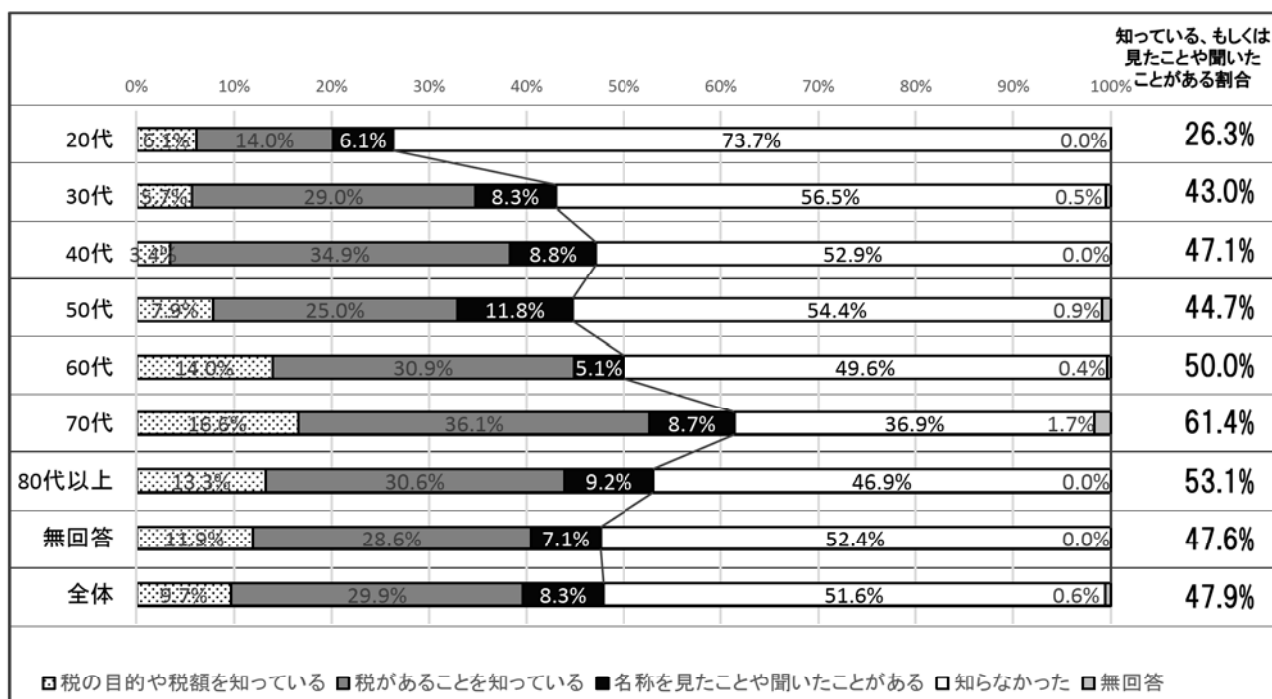
設問2

あなたは、「横浜みどり税」をご存知ですか？

×

年代

30代以降では概ね40～50%程度知られているのに対し、若い世代の知っている割合が低い傾向があります。20代114人中84人(73.7%)の方が知らないと答えています。



設問3

「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」について何で知りましたか？【複数回答可】

×

年代

最も多い回答の「広報よこはま等の広報誌」については、基本的に年代が高いほど割合が増える傾向があり、一番割合が多い年代は70代(67.1%)、一番割合が少ない年代は20代(28.2%)でした。

			設問3												
		母数（設問1・2の両方もしくは片方で知っている と回答した人数）	広報よこはま等の広報誌	市からの税金の通知等	区役所等公共施設でのチ ラシ・ポスター等	自治会・町内会の回覧	ホームページ等	イベント	電車及び駅の広告	バスの広告	テレビ・ラジオ	新聞	タウン誌等の地域情報誌	その他	無回答
年代	20代	39	28.2%	25.6%	10.3%	7.7%	10.3%	0.0%	12.8%	5.1%	5.1%	5.1%	5.1%	20.5%	10.3%
	30代	96	29.2%	50.0%	4.2%	7.3%	7.3%	3.1%	3.1%	1.0%	5.2%	1.0%	2.1%	7.3%	16.7%
	40代	137	51.1%	32.8%	7.3%	8.8%	5.1%	0.0%	3.6%	1.5%	3.6%	3.6%	2.9%	9.5%	13.9%
	50代	109	55.0%	30.3%	9.2%	13.8%	3.7%	1.8%	0.9%	0.9%	6.4%	10.1%	3.7%	9.2%	7.3%
	60代	149	59.7%	43.0%	10.7%	13.4%	0.7%	0.7%	2.0%	0.7%	2.7%	6.7%	6.0%	1.3%	7.4%
	70代	164	67.1%	26.8%	14.0%	16.5%	3.0%	1.2%	1.8%	0.0%	4.9%	13.4%	6.7%	3.7%	11.0%
	80代以上	57	61.4%	31.6%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	5.3%	1.8%	5.3%	14.0%
	無回答	24	41.7%	50.0%	16.7%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	4.2%	8.3%	8.3%
全 体		775	53.3%	35.4%	9.5%	11.7%	3.7%	1.0%	2.6%	0.9%	4.5%	7.2%	4.4%	6.6%	11.1%

設問4

普段どのようにして横浜市からのお知らせ等を知りますか？【複数回答可】

×

年代

「広報よこはま等の広報誌」と回答した方が各年代とも最も多く、特に30代より上の年代では、設問3と同じく、やはり年代が高いほど割合も多くなる傾向があります。20代は、「広報よこはま等の広報誌」と回答した方の割合が34.2%と他の年代に比べて低いのにに対して、「電車及び駅の広告」(33.3%)、「バスの広告」(14.9%)の割合が高く、交通広告で情報を得る傾向があるといえます。

		設問4												
		母数（それぞれの属性の回答者数）	広報よこはま等の広報誌	区役所等公共施設でのチラシ・ポスター等	自治会・町内会の回覧	ホームページ等	イベント	電車及び駅の広告	バスの広告	テレビ・ラジオ	新聞	タウン誌等の地域情報誌	その他	無回答
年代	20代	114	34.2%	11.4%	18.4%	12.3%	2.6%	33.3%	14.9%	11.4%	9.6%	7.0%	7.9%	4.4%
	30代	193	66.8%	13.0%	25.4%	10.9%	2.1%	13.0%	5.2%	6.7%	4.7%	12.4%	7.8%	4.7%
	40代	261	73.6%	8.4%	40.6%	7.7%	1.5%	11.1%	3.8%	5.7%	9.2%	11.9%	4.6%	3.4%
	50代	228	76.8%	10.5%	44.7%	4.8%	1.8%	10.1%	5.3%	5.3%	14.5%	13.2%	3.1%	2.6%
	60代	272	82.0%	11.0%	51.8%	2.9%	0.4%	5.1%	2.6%	6.6%	12.9%	13.6%	1.5%	4.8%
	70代	241	80.9%	13.7%	49.4%	2.5%	1.7%	4.1%	2.1%	4.1%	20.7%	14.9%	0.8%	7.9%
	80代以上	98	74.5%	8.2%	49.0%	1.0%	1.0%	0.0%	3.1%	0.0%	13.3%	15.3%	1.0%	5.1%
	無回答	42	69.0%	19.0%	28.6%	0.0%	2.4%	9.5%	7.1%	9.5%	21.4%	7.1%	7.1%	4.8%
全 体		1449	72.8%	11.2%	41.3%	5.6%	1.5%	9.9%	4.6%	5.9%	12.7%	12.7%	3.7%	4.7%

設問1	あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
-----	---------------------------

×

設問2	あなたは、「横浜みどり税」をご存知ですか？
-----	-----------------------

「横浜みどりアップ計画」と「横浜みどり税」の両方、もしくは片方を知っている方の割合は53.5%でした。

		設問2				
		知税 つ の 目 的 や 税 額 を	知税 つ が あ る こ と を	聞 名 い 称 を 見 た こ と が あ る や	知 ら な か っ た	無 回 答
設 問 1	取組内容を知っている	4.2%	1.7%	0.1%	0.3%	0.0%
	計画があることを知っている	3.0%	9.6%	0.8%	1.2%	0.0%
	名称を見たことや聞いたことがある	1.7%	10.8%	5.2%	4.0%	0.1%
	知らなかった	0.9%	7.7%	2.1%	46.0%	0.1%
	無回答	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%

※ 小数第2位を四捨五入しているため、
該当部分の割合の合計は53.5%になりません。

母数：総回収数(1449人)

設問1	あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
-----	---------------------------

×

設問3	「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」について何で知りましたか？【複数回答可】
-----	---

多くの方が「広報よこはま等の広報誌」を通じて「横浜みどりアップ計画」を知ったと回答しています。また、「横浜みどりアップ計画は知らないが、横浜みどり税は知っている」という層は、過半数(51.8%)が「市からの税金の通知等」を通じて横浜みどり税を知ったと回答しています。

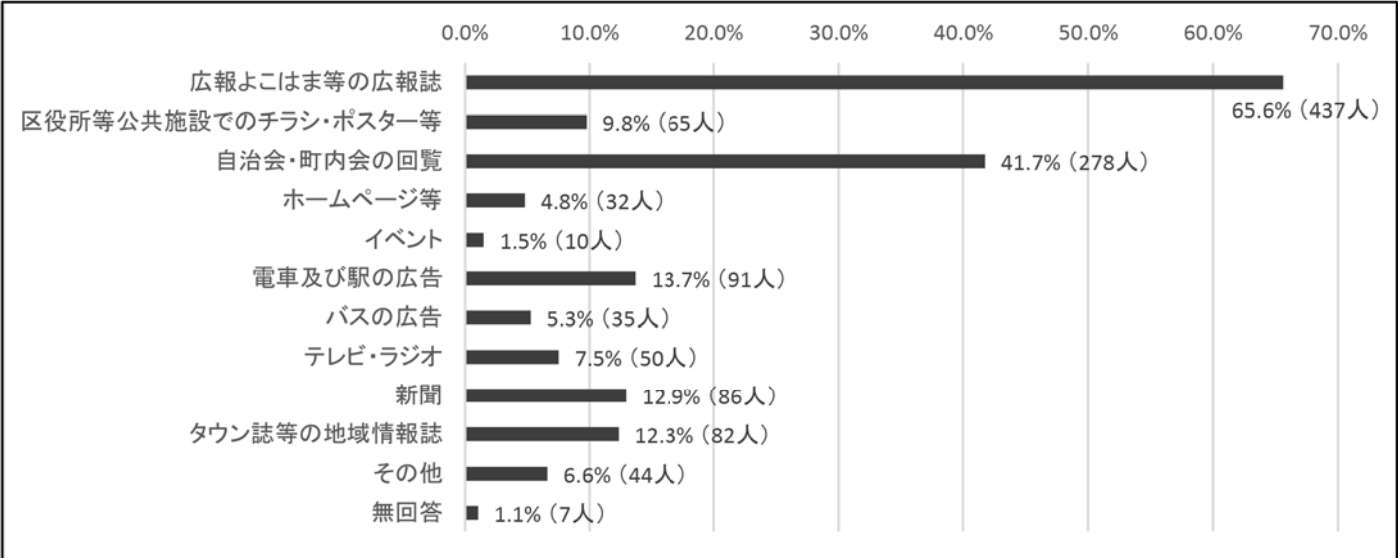
		設問3													
		誌 広 報 よ こ は ま 等 の 広 報	市 か ら の 税 金 の 通 知 等	区 役 所 等 公 共 施 設 の ポ ス タ ー 等	自 治 会 ・ 町 内 会 の 回 覧	ホ ー ム ペ ー ジ 等	イ ベ ン ト	電 車 及 び 駅 の 広 告	バ ス の 広 告	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	誌 タ ウ ン 誌 等 の 地 域 情 報	そ の 他	無 回 答	母 数
設 問 1	取組内容を知っている	69.8%	47.7%	12.8%	23.3%	10.5%	2.3%	2.3%	0.0%	3.5%	14.0%	2.3%	8.1%	-	86
	計画があることを知っている	73.7%	32.3%	13.4%	16.7%	2.2%	0.5%	2.7%	1.1%	7.5%	8.6%	7.0%	6.5%	-	186
	名称を見たことや聞いたことがある	58.6%	36.3%	12.5%	11.7%	4.0%	1.8%	3.7%	1.5%	5.1%	6.2%	6.2%	7.0%	-	273
	知らなかった(計画は知らないが、みどり税は知っている)	39.0%	51.8%	2.8%	5.0%	3.5%	0.0%	2.1%	0.7%	2.1%	7.1%	1.4%	9.2%	-	141
	無回答	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	-	3

設問4	普段どのようにして横浜市からのお知らせ等を知りますか？【複数回答可】
-----	------------------------------------

×

設問1	あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？	両方「知らない」と答えた層
設問2	あなたは、「横浜みどり税」をご存知ですか？	

計画、税の両方を知らないと回答した層も特に「広報よこはま等の広報紙」(65.6%)、「自治会・町内会の回覧」(41.7%)を通して市の情報を得ていることが分かりました。



母数: 設問1. 2で両方「知らない」と答えた人の数(666人)

設問9	緑に関する取組について、今後行ってみたいものはありますか？【複数回答可】	×	年代
-----	--------------------------------------	---	----

各年代で最も多い回答は「森での散策、ウォーキング」でしたが、30代のみ「野菜や果物の収穫体験」(51.8%)「横浜の農畜産物の購入」(42.5%)と回答した割合が高くなりました。

		設問9											
	年代	母数 (回答者数)	森づくりに関するボランティア	森での散策、ウォーキング	環境講座、森でのイベントへの参加	横浜の農畜産物の購入	野菜や果物の収穫体験	市民農園等での農業体験	農体験教室等、農や食に関するイベント	自宅の屋上や壁面の緑化	地域の緑を増やす活動や地壇や植物の手入れ	その他	無回答
	20代	114	13.2%	41.2%	10.5%	28.1%	31.6%	17.5%	22.8%	18.4%	17.5%	4.4%	28.9%
	30代	193	10.9%	38.3%	9.3%	42.5%	51.8%	30.6%	25.4%	16.1%	14.0%	5.2%	16.6%
	40代	261	10.7%	42.5%	15.3%	37.5%	42.1%	23.4%	25.7%	12.6%	18.0%	1.9%	14.9%
	50代	228	13.2%	50.9%	15.4%	37.7%	31.6%	23.2%	19.3%	11.4%	12.7%	2.2%	14.9%
	60代	272	13.6%	48.9%	14.0%	29.8%	24.3%	18.8%	14.7%	5.9%	18.4%	2.2%	20.6%
	70代	241	8.3%	31.5%	10.4%	24.1%	17.0%	12.0%	12.0%	5.8%	16.2%	4.1%	41.5%
	80代以上	98	2.0%	20.4%	6.1%	18.4%	6.1%	5.1%	4.1%	4.1%	10.2%	7.1%	57.1%
	無回答	42	19.0%	31.0%	16.7%	26.2%	33.3%	28.6%	31.0%	9.5%	19.0%	4.8%	31.0%
	全体	1449	11.1%	40.7%	12.5%	32.2%	30.7%	20.0%	18.8%	10.3%	15.9%	3.5%	25.1%

設問1で「知らない」と答えた層 × 設問5, 6, 8

「横浜みどりアップ計画」を知らない層にも特に知られている取組は、「市民の森等の保全・維持管理」(26.1%)と「地産地消」(22.5%)の2つでした。

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
「知らない」と答えた層

×

設問5 市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民とともに次世代につなぐ森を育む」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

緑地保全制度による指定や買取り	5.3%
市民の森等の保全・維持管理	26.1%
森でのウォーキング等のイベント・環境教育	11.5%
森づくりボランティア等の人材の育成	3.8%
ウェルカムセンター	3.9%
その他	19.8%
無回答	42.0%

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
「知らない」と答えた層

×

設問6 市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民が身近に農を感じる場をつくる」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

水田など農景観の保全	4.6%
野菜や果物の収穫体験農園	11.7%
農業講座や農体験教室等	3.9%
地産地消	22.5%
市民農園等、農体験の場の整備	13.1%
その他	18.3%
無回答	41.2%

設問1 あなたは、「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
「知らない」と答えた層

×

設問8 市では、「横浜みどりアップ計画」の3つの柱の1つとして、「市民が実感できる緑をつくる」ため下記の取組を進めています。あなたが知っている取組のすべてについて、数字に○を付けて下さい。【複数回答可】

地域で進める緑のまちづくり	17.3%
保育園や小学校での園庭・校庭の芝生化	10.1%
屋上・壁面の緑化等民有地の緑化助成	11.9%
市民が利用する区庁舎や区民利用施設等の公共施設の緑化	9.8%
人生記念樹の配布	7.2%
みなとみらい21地区等都心臨海部での緑や花による賑わいづくり	11.5%
その他	15.4%
無回答	39.0%

母数(設問1での「知らない」と答えた回答者数): 823人

設問10

「横浜みどりアップ計画」や事業について、市民の皆さんにさらに知っていただくために、今後どのような広報の仕方が効果的だと思いますか？

大項目	分類項目	意見数	割合	母数
広報手段に関する提案	イベント開催	120	15.5%	
	交通広告	112	14.5%	
	広報よこはま	62	8.0%	
	TV・ラジオ	56	7.2%	
	教育	55	7.1%	
	町内会を通じた周知	54	7.0%	
	HP・ソーシャルメディア	51	6.6%	
	チラシ・各宅への郵便	37	4.8%	
	ポスター・看板等	30	3.9%	
	種・苗木の配布	29	3.7%	
	スーパーなど商業施設での広告	24	3.1%	
	新聞・タウン誌	23	3.0%	
	事業箇所表示	17	2.2%	
	タレント・ゆるキャラ	9	1.2%	
	その他の広報に関する提案	92	11.9%	
計画・税に関する提案	横浜みどりアップ計画について	92	11.9%	
	横浜みどり税について	36	4.7%	
その他	その他の要望、意見	21	2.7%	774
	無関係	21	2.7%	
	特になし・わからない	20	2.6%	

ご意見を記入した人数：774

意見数：961

特に多かった提案

1位：イベント開催

最も多かった回答は「イベント開催」(15.5%)でした。その中でも特に「小中学生が参加できるイベント」「親子で参加できるイベント」等、子どもを中心とした回答が多数でした。

子どもを中心とした回答では「教育」(7.1%)も上位です。主に「授業の一環として取り入れる」「体験学習」「学校で資料を配布し、子ども経由で親にも周知させる」等の意見がありました。

2位：交通広告

2番目に多かった回答は「交通広告」(14.5%)でした。その中でも特に「駅・バス停等でのポスター告知」「電車内の吊り広告」「電車内の液晶テレビ」等の回答が多数でした。

3位：広報よこはまの活用

3番目に多かった回答は「広報よこはま」(8.0%)でした。「広報よこはま」は設問3「横浜みどりアップ計画や横浜みどり税について何で知りましたか？」では最も多く(53.3%)、設問4「普段どのようにして横浜市からのお知らせ等を知りますか？」でも最も多い回答(72.8%)でした。広報の手段として注目度の高い媒体であると言えます。自由記述の意見では「広報よこはまを活用すべき」という意見のほかに、「毎号に継続して掲載すべき」「一面でもっと目立つように」等、内容に踏み込んだ意見も多くありました。

広報手法についての分析

ポイント

1

「広報よこはま等の広報誌」、「市からの税金の通知等」が特に効果的。

計画やみどり税を知った経緯について、過半数の方が「広報よこはま等の広報誌」と回答しています。

また、計画やみどり税も知らない層も65.6%が「広報よこはま等の広報誌」で市の情報を得ていると答えています。

「広報よこはま等の広報誌」を活用した広報が最も効果的と判断できます。

加えて、「市からの税金の通知等」から計画やみどり税を知った割合も高く、こちらも効果が高い媒体といえます。

ポイント

2

「自治会・町内会の回覧」も広報効果が期待できる。

普段横浜市からのお知らせを知る手段として41.3%の方が「自治会・町内会の回覧」を挙げています。

計画や税を知っている割合を向上させる為には、多くの方が利用している「自治会・町内会の回覧」を引き続き活用していくことが有効だと思われます。

また、回覧を通じて計画やみどり税を知る方の割合を増やすには、さらに目を引く工夫が必要だと考えられます。

ポイント

3

「イベント」、「交通広告」の有効活用が必要。

効果的だと思われる広報の仕方では上位となったのは「イベント開催」15.5%、「交通広告」14.5%です。

今回の調査で、特に若い世代は「交通広告」から市の情報を得る傾向が強いことが分かりました。

また、広報に関する提案のなかではイベント等を通じて学生や親世代にPRすべき、という趣旨の意見が多くありました。

「イベント開催」「交通広告」をさらに活用することで、より幅広い層に周知できると推測できます。

ポイント

4

馴染みのある取組を通じたアプローチも有効。

今回の調査の結果、計画を知らないと答えた層にも、みどりアップ計画のいくつかの取組は知られていることが分かりました。

特に「市民の森等の保全・維持管理」、「地産地消」は計画を知らない方でも2割以上の方が知っています。

知っている割合を向上させるためには、計画を知らないと答えた層に対して馴染みのある事業の中で計画、税を認識して頂くことが有効だと思われます。

横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）

平成 27 年度事業目標



取組の柱 1：市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 27 年度 事業目標	平成 27 年度事業費 [百万円]		【参考】 5 か年の目標
			総額	横浜 みどり税 充当額	
	施策 1：樹林地の確実な保全の推進				
	①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取事業				
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取	・緑地保全制度による新規指定面積：100ha ※買取見込面積：19.7ha	6,014	(624)	・新規指定：500ha ※買取想定面積：108ha
	施策 2：良好な森を育成する取組の推進				
	②生物多様性・安全性に配慮した森づくり事業				
2	森づくりガイドライン等を活用した森の育成	・ガイドライン等を活用した維持管理：推進 《対象：市民の森、ふれあいの樹林地等、まとまった樹林地のある公園》 ・保全管理計画の策定：樹林地：3か所 公園：3か所	740	(581)	・ガイドライン等を活用した維持管理：推進 ・保全管理計画の策定：樹林地：15か所 公園：10か所
3	指定された樹林地における維持管理の支援	・樹林地維持管理助成：130件			・樹林地維持管理助成：650件
4	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	・法面の整備：2か所			・法面の整備：10か所
5	間伐材の有効利用	・チップの貸出し：推進			・チップの貸出し：推進
	③森を育む人材の育成事業				
6	森づくりを担う人材の育成	・森づくり活動団体（個人）の育成等：推進 ・森づくりボランティアへの情報発信、広報・PRの充実：推進	14	(14)	・森づくり活動団体（個人）の育成等：推進 ・森づくりボランティアへの情報発信、広報・PRの充実：推進
7	森づくり活動団体への支援	・森づくり活動団体への支援（樹林地）：10団体 ・森づくり活動団体への支援（公園）：10団体			・森づくり活動団体への支援（樹林地）：延べ50団体 ・森づくり活動団体への支援（公園）：延べ50団体

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 27 年度 事業目標	平成 27 年度事業費 [百万円]		【参考】 5 か年の目標
			総額	横浜 みどり税 充当額	
	施策 3：森と市民とをつなげる取組の推進				
	④市民が森に関わるきっかけづくり事業				
8	森の楽しみづくり	・イベント実施及び広報活動 イベント等の実施： 36 回	65	(25)	・イベント実施及び広報活動 イベント等の実施： 180 回
9	森に関する情報発信	・市民の森・ふれあいの 樹林ガイドマップ作 成：推進 ・ウェルカムセンター （5 館）の運営：推進			・市民の森・ふれあいの 樹林ガイドマップ作 成：新規に指定された 市民の森等を対象に 作成 ・ウェルカムセンター （5 館）の運営：推進

 取組の柱 2：市民が身近に農を感じる場をつくる

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 27 年度 事業目標	平成 27 年度事業費 [百万円]		【参考】 5 か年の目標
			総額	横浜 みどり税 充当額	
	施策 1：農に親しむ取組の推進				
	①良好な農景観の保全事業				
10	水田の保全	・水田保全承認面積： 累計 121ha	218	(108)	・水田保全承認面積： 累計 125ha
		・水源確保施設整備： 2 か所			・水源確保施設整備： 10 か所
11	特定農業用施設 保全契約の締結	・制度運用			・制度運用
12	農景観を良好に 維持する取組の 支援	・良好に維持されている 農地の面積：710ha			・良好に維持されている 農地の面積：680ha
		・田園景観保全水路整備 ：1 地区			・田園景観保全水路整備 ：5 地区
		・共同利用設備の整備： 5 件			・共同利用設備の整備： 25 件
13	多様な主体によ る農地の利用促 進	・長期貸付開始農地： 4.2ha (累計 68.5ha)			・長期貸付開始農地： 80ha
	②農とふれあう場づくり事業				
14	様々なニーズに 合わせた農園の 開設	【5.1ha】 ・収穫体験農園の開設支 援：2.5ha	746	(111)	【25.8ha】 ・収穫体験農園の開設支 援：12.5ha
		・市民農園の開設支援： 1.2ha			・市民農園の開設支援： 6.0ha
		・農園付公園の整備 ：2 か所（1.4ha）			・農園付公園の整備 ：7.3ha
15	市民が農を楽し み支援する取組 の推進	・ふるさと村・恵みの里 の農体験教室など： 100 回			・横浜ふるさと村、恵み の里で農体験教室など の実施：500 回
		・あぐりツアーの開催： 4 回			・あぐりツアーの開催： 20 回
		・農ある地域づくり協 定：2 件			・農ある地域づくり協 定：4 件
		・農体験講座：5 回			・農体験講座：25 回

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 27 年度 事業目標	平成 27 年度事業費 [百万円]		【参考】 5 か年の目標
			総額	横浜 みどり税 充当額	
	施策 2：地産地消の推進				
	③身近に感じる地産地消の推進事業				
16	地産地消にふれる 機会の拡大	・直売所等の支援： 10 件	48	(-)	・直売所等の支援： 52 件
		・青空市運営支援： 5 件			・青空市運営支援： 25 件
		・緑化用植物の生産・配 布：24,500 本			・緑化用植物の生産・配 布：125,000 本
		・情報発信・PR 活動： 推進			・情報発信・PR 活動： 推進
	④市民や企業と連携した地産地消の展開事業				
17	地産地消を広げ る人材の育成	・はまふうどコンシェル ジュの活動支援： 20 件	13	(-)	・はまふうどコンシェル ジュの活動支援： 100 件
		・フォーラムの開催： 1 回			・フォーラムの開催： 5 回
18	市民や企業等との 連携	・企業等との連携： 5 件			・企業等との連携： 50 件
		・ビジネス創出支援： 5 件			・ビジネス創出支援： 25 件
		・学校給食での市内産農 畜産物の利用促進： 推進			・学校給食での市内産農 畜産物の利用促進： 推進



取組の柱 3：市民が実感できる緑をつくる

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 27 年度 事業目標	平成 27 年度事業費 [百万円]		【参考】 5 か年の目標
			総額	横浜 みどり税 充当額	
	施策 1：市民が実感できる緑を創出する取組の推進				
	①民有地での緑の創出事業				
19	民有地における 緑化の助成	・緑化の助成：13 件	62	(49)	・緑化の助成：65 件
20	建築物緑化保全 契約の締結	・制度運用			・制度運用
21	名木古木の保存	・推進			・推進
22	人生記念樹の配 布	・苗木の配布： 8,000 本			・苗木の配布： 40,000 本
	②公共施設・公有地での緑の創出事業				
23	公共施設・公有地 での緑の創出・管 理	・緑の創出：16 か所 ・創出した緑の維持管 理：推進	1,143	(586)	・緑の創出：58 か所 ・創出した緑の維持管 理：推進
24	公有地化による シンボリックな緑 の創出	・事業推進：1 か所			・事業推進：5 か所
25	いきいきとした 街路樹づくり	・18 区で推進			・18 区で推進
	施策 2：緑を楽しむ市民の盛り上げりを醸成する取組の推進				
	③市民協働による緑のまちづくり事業				
26	地域緑のまちづ くり	・地域緑化推進事業： 28 地区 (新規 6 地区、 継続 22 地区)	296	(296)	・地域緑化推進事業： 46 地区
	④子どもを育む空間での緑の創出事業				
27	保育園・幼稚園・ 小中学校での緑 の創出	・緑の創出：20 か所 ・芝生等の維持管理：推 進	86	(16)	・緑の創出：100 か所 ・芝生等の維持管理：推 進
	⑤緑や花による魅力・賑わいの創出事業				
28	都心臨海部の緑 花による賑わい づくり	・都心臨海部で推進 ・緑花の維持管理：推進	528	(498)	・都心臨海部で推進 ・緑花の維持管理：推進



効果的な広報の展開

取組 番号	施策方針/ 事業・取組	平成 27 年度 事業目標	平成 27 年度事業費 [百万円]		【参考】 5 か年の目標
			総額	横浜 みどり税 充当額	
	①市民の理解広げる広報の展開				
29	計画の周知や実績 報告	・広報よこはま特集ページの利用 ・計画、実績概要の作成・配付 ・交通広告や各種メディアの活用 ・市の工事等の現場に統一的な看板等設置 ・市民認知度の調査 ・公共施設などで横断幕等による PR ・PR 用動画の制作・配付 ・マスコットキャラクターの作成・活用	18	(-)	・推進